

豊岡市新文化会館 管理運営計画検討委員会 (第4回)

資 料

2024.1.16

(1) 第3回検討委員会の確認

①自主事業方針案について ②プレイベント・開館記念事業実施方針案について

(2) 市民ワークショップの結果について

①芸術文化観光専門職大学生ワークショップ ②第3回市民ワークショップ

(3) 貸館事業方針案について

(1) 第3回検討委員会の確認

(1)-① 自主事業方針案（再掲）

- これまでの自主事業実施状況や市内他施設とのバランス、市民意見等を踏まえ、本施設の自主事業全体における基本方針を次のように整理します。

① 施設特性を活かして優れた鑑賞機会を提供する

優れた作品の鑑賞の場という役割を旧施設から引き継ぎ、本施設を豊岡市における文化芸術体験の中心地とします。様々な演目に対応する最新の舞台設備や充実した諸室を活かし、ジャンルにこだわらずあらゆる企画を実施します。

【事業イメージ】 ・既存鑑賞事業(コンサートなど)
・著名なアーティストによる公演や展示
・お笑いライブ など

② 市域全体の文化的連携・協働を推進する

他の文化施設や芸術文化観光専門職大学を始め、市内のあらゆる機関との連携・協働事業に取り組むことで、市域全体の文化振興を促進します。アウトリーチや屋外イベント、既存イベントとの連携など、まち全体の視点から事業を企画します。

【事業イメージ】 ・既存アウトリーチ事業(小学校への訪問コンサートなど)
・他施設や専門職大学との共催事業
（KIAC制作公演のプレビュー、学生による定期上演など）
・市内のお祭りとの連携 など

(1)-① 自主事業方針案 (再掲)

③ 人・情報・体験のクロスポイントとなる

事業を通して、文化芸術にまつわるあらゆる人・情報・体験が集積し、また発信されていく仕組みを整えます。出会いや交流に満ちた空間として、行ってみたくなる・やってみたくなる事業を展開します。

【事業イメージ】 ・既存普及・育成事業(吹奏楽レクチャーなど)
・市内各地の文化を体験するワークショップ
・障害のある方も鑑賞しやすい公演(リラクスパフォーマンスなど)
・文化情報コーナー(チラシラック、バンド情報掲示板等)の設置・運営
など

④ 市民の文化芸術活動を底上げする

単なる施設の貸出しにとどまらず、活動成果の発表や共同作品づくり、自主事業の企画・実施協力など、市民が主体的に文化芸術活動に参加・参画できる機会をつくります。

【事業イメージ】 ・市民による成果発表会に対する助言、協力
・合同作品展の開催
・自主事業の市民提案企画募集 など

(1)-① 自主事業方針案に関する主な意見 (欠席された委員の意見を含む)

鑑賞事業

- 豊岡市民会館は特に音楽ジャンルに力を入れているが、様々な好みを持つ方に向けてジャンルが広がれば良い。
- 大阪でも京都でも観られないものがあるから豊岡へ行こう、と思わせる仕掛けが必要。どこにでもあるホールを乗り越える新しいヴィジョンを持つべき。
- ホール公演だけでなく現代美術の展覧会など、但馬地域で触れる機会の少ないものを開催しては。専門職大学との連携も考えられる。
- コストパフォーマンスの高い普及系事業を重ね、数年に1度本格的な公演が観られるようにするなど、観客育成のシステムを作ってはどうか。開館記念事業へ繋げることも考えられる。

市内外の連携

- 近隣施設と同じような活動をするのではなく、棲み分けを含めてうまく連携していければ良い。
- 市街地近辺だけでなく市全体の方が足を運びやすいものにするというのが課題である。
- 市民全員の持ち物として認識してもらう必要がある。外側に積極的にアプローチしていくことが重要。
- 地域コーディネーターやリンクワーカーのような役割を本施設が担えると良い。
- 市内のみに留まらず、但馬地域内、兵庫県内、日本国内の同規模施設とも連携しながら、共同制作や情報共有を行うという視点も取り入れたい。

全館活用・賑わい

- フリースペースの有効活用が新文化会館の目玉の一つだが、使い方のイメージが湧きづらいのではないかと。
- 大ホールでの鑑賞事業だけでなく、ホワイエやギャラリー等を使用した小さなワークショップを行うなど、催しが散りばめられ、年間を通して多世代が活発に利用できる場になると良い。

市民参加・市民協働・市民共創

- 地域の文化団体による発表を共催として自主事業に取り込むなど、市民と連携できると良い。
- 自主事業を誰がどう企画し、そこに市民がどう参加できるのか。これまで以上に使い勝手が良くなるよう、現状をどう変えていくか検討する必要がある。

(1)-② プレイベント実施方針案（再掲）

- イベント実施の目的や、市民ワークショップでの意見等を踏まえ、プレイベントの実施方針について次のように整理します。

① 新文化会館への期待感を高める

新たな施設が出来ることを広く周知し、多くの市民に開館を楽しみにしてもらえよう、現市民会館や建設現場なども活用しながら、関心を高めるイベントを開催します。

② 開館記念事業へ繋がる取り組みを始める

プレイベントを開館に向けて機運を盛り上げていく機会とするために、開館記念事業との連続性を持った企画を実施します。

③ 市域連携・協働の足掛かりをつくる

開館後の運営に欠かせない市域全体での連携・協働に向けて、専門職大学等とプレイベントを共同開催するなど、良好な関係性を構築し共に活動する準備を進めます。

(1)-② 開館記念事業実施方針案（再掲）

- イベント実施の目的や、市民ワークショップでの意見等を踏まえ、開館記念事業の実施方針について次のように整理します。

① 新文化会館をお披露目し、賑わいを印象付ける

市内外から多くの方に足を運んでもらい、新施設の役割や機能、使い方を周知するとともに、常に人で賑わう空間という印象を残し、その後もふらりと訪れたいくなる雰囲気を作ります。

② プレイメントからの流れを通年事業へ繋げる

開館後を見据えて実施するプレイメントからの連続性を意識し、参加者・関係者との連携を維持しながら、通年事業へと長く続いていく企画のスタートを切ります。

③ 参加・体験型事業で市民活動の第一歩を踏み出す

施設が最も注目されるオープニング期間に、誰もが参加しやすく、体験してみたいと思える事業を実施することで、文化芸術活動の第一歩を気軽に踏み出し、施設への愛着を持てるきっかけとします。

(1)-② プレイベント・開館記念事業実施方針案に関する主な意見

(欠席された委員の意見を含む)

プレイベント

- 機運醸成のためには、ネーミングの公募や、見学ツアー、体験会のような実物を見てもらう機会があると良い。
- ボランティア組織を早めに立ち上げて盛り上げていくという方法もあるのではないか。
- 建築的価値や市民の思い出といった観点から、現市民会館を「記録」としてどう残すかも考慮したい。

開館記念事業

- 「こんな面白いことをやっているよ」という最初の打ち出しをどのようにやっていけるか、戦略的に考えていく必要がある。
- 催事の開催だけでなく、市内にポスターやフラッグを多く掲出するなど、市域全体で盛り上げる工夫があると良い。
- 愛着を持ってもらえるようなデザイン性の高いロゴやグッズを作成してはどうか。

プレイベント→開館記念事業への繋がり

- 他では鑑賞できないものを鑑賞できるようにしていけば、最初が肝心。市民参加型で、皆で練習し発表できるような音楽イベントがあったら面白い。
- 但馬地域は昔から能楽の愛好者が多いため、レクチャーやワークショップで理解や興味を深め、本格的な能の公演への期待値と集客力を上げるという流れも考えられる。

(2) 市民ワークショップの結果について

(2)-① 芸術文化観光専門職大学生ワークショップ 意見一覧

□ テーマ:「若い世代、専門人材は新文化会館にどう関わる？」(2023年11月27日実施)

運営

※第5回委員会(議題:市民参加)にて再掲します。

【人材育成】

- 人材育成、キャリア形成(アートマネジャー・劇場管理など／アーティスト／スタッフ)
- 学生のインターン先とする(短期・長期、通年、長期休暇)→公演の受付に入ったりテクニカルをやってみたり
- 学生の劇場プロデュース実習の実習先とする
- 課外授業の場として利用(文化施設運営論など)
- 授業やゼミなどが年間スケジュール等に関わる
- 但馬地域の劇場スタッフの育成の軸へ
- 小・中・高の社会科見学的利用
- 音楽ホールではあるがジャンル関係なくアートインレジデンスを集う
- 学生表現団体にレジデンスアーティスト指定

【学生・卒業生・市民の運営参画】

- 学生による指定管理団体の設立
- 卒業生の就職先へ
- CAT生が管理運営団体のミーティングに参加し年度計画のアイデアを出す
- 学生アルバイト
- 備品管理/機材管理の手伝い
- 事務(窓口)⇒施設予約や案内
- テクニカルスタッフ
- 制作スタッフ(アートマネジャーも含む)
- 学生プロデュースチームを作り毎年2つ企画を運営してもらう
- 市民が企画を出して選ばれたらその実現も。市民が自分たちで考える(劇場はサポート)

【他施設連携】

- 他市立文化施設との協力・連携
- 公園や近隣施設と連携

【組織】

- 館長or芸術監督の指針があると良い
- ワインソムリエをスタッフに→発表のリハやコンセプトを見て観劇後のお酒やドリンクを用意する。ドリンク付きのチケットを売る

【利便性向上】

- 何時から何時まで開放？山梨か長野で24h開放の技術センターがあった気が
- バス停を近くに設置(小バスも大きなバスも止まるようにして停車頻度を高くする)
- 本番以外の日をどう運営するか セレクトショップ、バー、図書館(専門的な)

【理念】

- 文化芸術による「小さな世界都市づくり」を事あるごとに発信する
- 豊岡市の文化予算増

(2)-① 芸術文化観光専門職大学生ワークショップ 意見一覧

□ テーマ:「若い世代、専門人材は新文化会館にどう関わる？」(2023年11月27日実施)

事業

※第5回委員会(議題:市民参加)にて再掲します。

【成果発表】

- 大学生や高校生等が共同サークルを作り、毎月1日そのサークルが企画するプログラムを実施
- 授業の成果発表の場としての利用(市民に公開することも含め)
- 演劇祭中の公演場所(それに伴う学生の実習先)
- サークルなどの作品展示としての場
- 小・中・高の合唱コンクールや文化祭などでの利用
- TYT(TAJIMA YOUTH THEATER/大学の演劇公演実習)やPAP(Performing Arts Project/大学の舞台芸術公演事業)を毎年新文化会館で発表する
- PAP公演
- 自主公演・PAPなどの発表の場としての利用
- 学生自主公演の利用

【交流】

- (北九州芸術劇場のイメージ)2年間にわたって地域を学ぶ&クリエイションをするプログラム
- 大学生が小中学生と勉強や歌、ダンスなどを行う
- アクセシビリティ 障害者の方に特化した公演の開催
- Welcome Party 豊岡に移住してきた人を地元で歓迎する
- 多様な国にルーツを持つ人たちとのクリエイション
- 多文化共生を感じられるイベント(中国文化まつり、ネパール屋台)
- 豊岡市内のお見合いパーティーでの使用
- 展示イベントと一緒にフリーマーケットをする
- ワンコインで皆でご飯を食べる(スタッフ、アーティスト、客、地域)

【協働・共創】

- 市民とプロの共同制作
- 地域の芸術系団体とプロをマッチングして公演を行う企画
- 学生・市民・アーティスト公演(ジャンル問わず)
- 公演Try企画(公演をうったことないけどどうってみたい団体のサポート)
- 落書きDay 大きな白い紙を壁に貼ってその日は何を描いてもOK→その月に館に展示
- ロビーで24時間音楽祭 市民、アーティスト、学生、教員
- 劇場がやりたいこと、学生がやりたいことにお互いが協力する関係性
- 但馬旅人生活拠点という学生劇団が100年続くサークルになろうとしている。ぜひ連携を
- 特別支援団体の文化祭をプラッツだけでなく新文化会館でも開けるように

(2)-① 芸術文化観光専門職大学生ワークショップ 意見一覧

□ テーマ:「若い世代、専門人材は新文化会館にどう関わる？」(2023年11月27日実施)

事業

※第5回委員会(議題:市民参加)にて再掲します。

【見学・体験・修得】

- プロの芸術家のWSの場(学生+市民)としての利用
- 舞台技術講習会
- ピアノなどの楽器の運搬の様子を公開
- テクニカルスタッフ、制作スタッフのWS

【子ども向け】

- 親子のための演劇鑑賞会
- 放課後読み聞かせプログラム(高校生、大学生→小中)
- 子供向けの演劇スクール
- 子供の遊び場(例:じばさん→勉学、体育館→スポーツ、会館→アート特化)
- 子供の遊び場→自力でテーマパークを作る&学び場として使う
- 週1は赤ちゃんか親子のイベントを市の図書館と連携して行う
- 昔の紙芝居をする(駄菓子とかも)

【ホール催事】

- 東京塩麴など1つのアーティストを毎年呼ぶ
- 東京塩麴、空間現代など音楽だけどそのジャンルに収まっていないのを!
- ケンカラップじゃなくてアートとしてのカッコイイラッパーを呼ぶ
- 高校の演劇や吹奏楽の大会などを誘致する
- コンテストかコンクールを開く(舞踊コンテスト、アーティストラップ)
- 1人ミュージカルコンクール

【参加型・賑わい】

- 脱出ゲーム
- 館全体を使ってアミューズメントパーク化 Day?Week?
- フリーピアノコンサート のど自慢のピアノ版
- 全部屋を使った何かができたら
- かくれんぼ、鬼ごっこ(体育館と連携)
- 枕投げ、〇〇投げ
- ディスコ(みんなで) 可児市文化創造センターalaで開催している
- 回遊型で新文化会館全体を回れる演目を定期的開催
- 豊岡にはイルミネーションが無くAityの木を高校生は観に行きたい→毎年キラキラさせる、高校生のデートスポットにする
- 新文化会館に泊まる
- 柳祭りのときは花火を見るために屋上?テラス?を開放する
- 毎月イベントをする(開放含む)
- 常に小さくてもいいからイベントをする←ロビーで!一目で何かやってんなーと分かる感じにする
- 使用済み美術を破壊する→焚火
- ドラッグクイーンとメイク講座、ドッジボール

【式典】

- 豊岡市の成人式でパフォーマンス
- 結婚式
- 生前葬

(2)-① 芸術文化観光専門職大学生ワークショップ 意見一覧

- テーマ:「若い世代、専門人材は新文化会館にどう関わる？」(2023年11月27日実施)

その他

※第5回委員会(議題:市民参加)にて再掲します。

【利用促進策】

- 利用料の学割や補助
- CAT、地元高校の学生の施設料金割引
- まずはとにかく市民に使わせる。そのために、芸術団体(豊岡、但馬)に割引利用券配布
- 託児機能
- 機材貸し出しの仕組みがあると相互協力できそう
- 公演チケット提示で割引
- キッチンカー、マルシェ
- 周辺のごはん屋を教えてください
- 居酒屋からの弁当を売るスペース

【新たな居場所】

- 自習場所やサードプレイスとしての利用
- 演目がなくても図書館みたいに気軽に入れるような空間に！高校生がただただ勉強しにくるとかができると良
- 学習室としての開放
- ボードゲームを複数置いておく
- 本、漫画、写真
- ポットを置く
- 誰でも使える電子レンジと水道を置く
- 出張図書館
- 劇場レストラン(大阪市中央公会堂)
- 飲食を提供する場所・スペースがない→キッチンカー、カフェ？

【愛着の醸成】

- デザイン性の高いグッズを作って販売
- 愛称を募集
- スタッフの名前がわかる(ネームプレート)

(2)-② 第3回市民ワークショップ 意見一覧

□ テーマ:「利用規則を考えよう」(2023年11月27日実施)

| ①理想の姿 | ②実現するためのルール |
|--|--|
| <p>【市民と新文化会館の関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民のための」ホール ずっと使いたい！そこで開催したい！と思われれるホール ホールと利用者の関係構築 子どもたちがたくさん使えて、愛着を持てるホール 市民による「市民会館を育てる会」 <p>【使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年末年始も、場合によっては使いたい 本番の日は早朝から使いたい ホールが主催するイベントにもっと気軽に参加したい <p>【スタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場スタッフの「安定」(雇用や異動に関して) ホール利用時の技術的ルールを明確にしたい 専門スタッフの確保 企画コーディネーター <p>【利用申込】</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口へ行かなくても、気軽に申込できる 空き日がすぐにわかる <p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 混雑しない駐車場 | <p>【市民の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が利用する場合は安く使いたい 入場料が安価な場合の市民利用は、「非営利の利用」としてほしい 減額・免除の制度を少なくする。(公的機関の使用時など) サービスの拡充より、利用料が高くなならないことを優先してほしい <p>【割引制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学割(学校の行事や部活以外でも) 定期利用者がお得に使える、サブスクリプション(月額料金) ホールの一部だけを使う場合のお得な料金設定 アーティストインレジデンス割引 たくさん使った団体のうち抽選で1団体だけ、次年度一年間無料(たくさん使うとお得になる「かもしれない」仕組み) 直前割 練習、リハーサル利用の場合は割引 来場者数による使用料金の増減 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民団体では高額な立替が難しいため、場合によっては後払い 特定の団体の利用に偏らないための利用回数制限 <p>【利用時間区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2～3時間のみの利用にも対応できるような柔軟な時間区分 <p>【利用申込】</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン申込やネット上での空き日確認 練習・会議利用等の場合は前日や当日でも申し込める等 支払いのキャッシュレス化 <p>【近隣施設との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の連携(場合によっては有料化?) |

料金

その他規則

(2)-② (参考) 基本計画策定時市民ワークショップ 関連意見

- 2019年8月22日、基本計画の策定に向けて行われた市民ワークショップでは、新文化会館の規則に関して以下のようなご意見を頂きました。

| 規則 | |
|--|---|
| <p>【開館日・休館日について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスによる休館は、集中させる。バラバラにしない。 ・火曜は他の施設が休みなので開館に！休みは水曜！ <p>【開館時間について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年越しは24時間オープンに ・8:30~22:00 延長はありで ・土日の利用が多くなると思うので、土日だけ開館時間を長めに <p>【貸出区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホールは、区分制（午前・午後・夜間の3区分） | <ul style="list-style-type: none"> ・土日は市民が休みの人が多いので、土日は開館！ ・週休1日（火曜日） ・開館時間は現市民会館の運営に準じる ・現状（9:00~22:00）±1時間 ・小、中規模の諸室は、時間制 ・1時間単位でよい |
| <p>【利用料金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝⇒割増料金 ・入場料金に学生割引を設ける ・文化協会の入会団体はリハ室関係を半額 ・利用料金は現市民会館よりやや高くなるのはやむを得ない ・会場費：使用回数に応じて割引 | <ul style="list-style-type: none"> ・後援等を市よりいただけたら、会場費等も免除してほしい ・平日（夜間）⇒通常料金、平日（昼間）⇒割引料金 ・料金はできるだけ安値に |
| <p>【その他】</p> <p>ア) 予約開始時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13ヶ月前に予約できるのがよい ・大ホール：1年前を目安に。小ホール：6~3ヶ月前を目安に。 | |
| <p>イ) 利用者の決定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被った場合は抽選も考える ・会場は1年前または6ヶ月前に抽選で決める | |
| <p>ウ) 利用料金の支払い方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金は不可 ⇒最低でも振込み ・高校生以下は現金可に | |
| <p>エ) 利用ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画次第ではアルコールも可に | |

(3) 貸館事業方針案について

(3) 貸館事業方針案

- 現市民会館および市内類似施設の利用規則や、市民ワークショップで出されたご意見、また先進事例等を参考に、利用者の利便性に配慮しつつ、新文化会館の規則策定の方針を次のように整理します。

休館日

- 年末・年始(12月29日から翌年の1月3日まで)および週に一度、特定の曜日(国民の祝日と重なる場合はその翌日)を休館日とし、詳細は市内類似施設と調整します。

| 現状 | 現市民会館 | 豊岡市民プラザ | 城崎国際 アートセンター | 日高文化体育館 | 出石永楽館 |
|--------|-----------|--------------------------|--------------------------|-----------|--------------------------|
| 年末年始休館 | 12/29~1/3 | 12/29~1/3 | 12/29~1/3 | 12/29~1/3 | 12/31~1/1 |
| 定期休館日 | 毎週火曜 | 毎週火曜 (祝日の場合は その翌日) | 毎週火曜 (祝日の場合は その翌日) | なし | 毎週木曜 (祝日の場合は その翌日) |

【考え方】

- 施設利用者にとっては定期休館日を設けない方が望ましいと考えますが、施設の適切な管理と、ランニングコストの軽減(人件費、光熱水費など維持管理費の削減、保守点検や臨時的なメンテナンスの実施)のために、週1回の定期休館日を設けることを検討します。なお、曜日は市内類似施設と調整します。
- 年末年始もランニングコストの軽減を考慮して、多くの市内類似施設と同様に休館を原則として検討します。

(3) 貸館事業方針案

開館時間

- 9:00～22:00までを基本とします。この開館時間には、準備および片付けにかかる時間を含みます。
- 開館および閉館時間前後の時間外利用については、大ホールと、大ホール利用に伴う諸室の利用時のみ、必要性や施設運営上の条件等を勘案しながら柔軟な対応を検討します。

| 現状 | 現市民会館 | 豊岡市民プラザ | 城崎国際 アートセンター | 日高文化体育館 | 出石永楽館 |
|------|------------|---------|-----------------|---------|-------|
| 開館時間 | 9:00～22:00 | | | | |

【考え方】

- 現市民会館および市内類似施設で一律の開館時間となっており、また日常的な深夜・早朝時間帯の利用は想定されないことから、現行どおりの開館時間を想定します。
- ただし、大ホールとそれに伴う諸室の利用においては、時間延長の希望が生じることも考えられるため、利用者の要望に柔軟に対応できる運用方法を検討します。

(3) 貸館事業方針案

利用時間区分

- 大ホールの利用時間区分は、午前・午後・夜間の3区分とし、午前および午後、午後および夜間、全日の組み合わせ区分を設けます。
- その他の諸室の利用時間区分は、利用者の利便性や多様な利用形態を考慮して、短時間の利用にも対応できるように、1時間を単位とする時間制とします。

大ホール

その他の諸室

| 午前 | 午後 | 夜間 | 午前・午後 | 午後・夜間 | 全日 | 全日(1時間単位) |
|------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|------------|
| 9:00~12:00 | 13:00~17:00 | 18:00~22:00 | 9:00~17:00 | 13:00~22:00 | 9:00~22:00 | 9:00~22:00 |

| 現状 | 現市民会館 | 豊岡市民プラザ | 城崎国際 アートセンター | 日高文化体育館 | 出石永楽館 |
|--------|--|---------|-----------------|---------|-------|
| 利用時間区分 | 全室3区分制 9:00~12:00 / 13:00~17:00 / 18:00~22:00 | | | | |

【考え方】

- 大ホールは短時間での利用が想定されにくいことや、利用者の入れ替わり、利用後の清掃・換気・設備の安全点検および立会い人員の調整といった管理上の効率を踏まえ、3区分制とします。
- その他の諸室については、利用者の利便性を第一に考え、また全国的な最新の傾向を参考に、時間制の導入を検討します。

(3) 貸館事業方針案

利用申込

- 大ホールは、原則、使用日の12か月前の月の初日から5日前まで申し込みを受け付けます。
- その他の諸室は、利用者の利便性を考慮し、原則、使用日の6か月前の月の初日から前日または当日までの申し込み受付を検討します。
- ただし、大ホールの申し込みを行う場合で、その他の諸室を併せて使用する場合は、12か月前の月の初日から受け付けます。
- 申請方法等は、現市民会館と同様に窓口での受付のほか、施設予約システムやキャッシュレス決済を導入するなど、手続きの簡素化を検討します。

| | |
|--------|----------------------------|
| 大ホール | 使用日の12か月前の月の初日 ~ 5日前まで |
| その他の諸室 | 使用日の 6か月前の月の初日 ~ 前日または当日まで |

| 現状 | 現市民会館 | 豊岡市民プラザ | 城崎国際 アートセンター | 日高文化体育館 | 出石永楽館 |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| 大ホール等 | 12か月前の初日～ 5日前まで | 12か月前の初日～ 5日前まで | 12か月前の初日～ 5日前まで | 前月の初日～ 3日前まで | 12か月前の初日～ 5日前まで |
| その他の諸室 | 6か月前の初日～ 5日前まで | 6か月前の初日～ 前日まで | 6か月前の初日～ 前日まで | | |

【考え方】

- 諸室における利用直前の申込や、窓口以外での予約・支払方法の導入について検討し、利用者の更なる利便性向上を図ります。

(3) 貸館事業方針案

連続利用日数

- 特定の人や団体による長期間かつ独占的な利用を防ぎ、公平性を保つため、連続利用日数は原則5日間を上限として検討します。

| 現状 | 現市民会館 | 豊岡市民プラザ | 城崎国際 アートセンター | 日高文化体育館 | 出石永楽館 |
|--------|-------|---------|-----------------|---------|--------|
| 連続利用上限 | 5日間 | 5日間 | 5日間 | 3日間 | (定めなし) |

【考え方】

- 施設利用の公平性を重視し、全館一律で5日間を上限とする現行の規則を継続する方向で検討します。

(3) 貸館事業方針案

使用料の考え方

- 現市民会館をはじめとする市内の類似施設や他市の類似施設の使用料等を参考としながら、市民の文化芸術活動へ配慮するとともに、施設の稼働率向上や歳入確保の観点も考慮して、施設内容に見合う適正な使用料を設定します。

施設使用料

- 使用料金は、利用者に一定の適切な負担を求める受益者負担の考え方を基本としますが、市内類似施設や他市類似施設の使用料等を参考に、施設内容に見合う適正な使用料となるよう設定します。
- このほか、以下の加算や割引を検討します。
 - ▷ 市民による市内利用と市外利用は異なる料金設定とします。
 - ▷ 入場料を徴収する場合は、その徴収額により、段階的な加算設定を行います。
 - ▷ 営利目的の利用の場合には加算を行います。
 - ▷ 大ホールは、土日祝日加算を行い平日とは異なる料金設定とします。
 - ▷ 大ホールの客席のうち1階のみを利用した場合の料金設定を行います。
 - ▷ 大ホールの舞台のみを使用した練習・リハーサル利用の場合の料金設定を行います。

使用料の減免

- 使用料の減免による減収は、施設・設備を維持していく上で大きな課題となっており、将来の管理運営を考え「廃止の方向」で検討します。